



ちよじとそいふて

わがまち散歩

道すがら、心通わす人がいる
古里の温もりに包まれながら
あちらこちら、わがまち散歩



木山から熊本城下を結ぶ、かつての木山往還が通った古閑地区。福富地区に残る、いにしえから守り伝えられる伝統文化。出会ったたくさんの笑顔をたっぷりとご紹介します。

美しい家庭菜園

大気が澄み渡り、空が一段と高く感じる季節。過ごしやすい秋の到来です。

さて今回の「わがまち散歩」は、福富・古閑地区です。飯田山を正面に広がる黄金色の田んぼでは、たわわに実った稲穂がこうべを垂れています。収穫が始まり、香ばしい匂いが風に乘って流れてきます。秋津川を渡る川風は心地よく、福



上／数種類の野菜が育っている田端さんの家庭菜園



雑草が1本もない美しい畑



「川の水をバケツにくんで運び畑にまきます。筋トレもかねて」と笑う田端さん

で野菜づくりの経験はなく、今年で3年目といえども実に立派な野菜が育っています。

「家にじっとしているのが嫌いな性格で、だったら実のなるものを栽培してみようと始めました」と田端さん。最初に取り掛かったのはミニトマト。「これが、たゞいぎや採れたとです。で、面白くなつてキュウリば植えたり、葉野菜のタネをまいたり、なんさま、はまりました」と田端さんは笑います。

収穫した野菜は、離れて暮らす家族が受け取りにやって来るそうです。近所にもお裾分けをするなど、田端さんの趣味の家庭菜園を喜んでいる人は多いようです。